

令和５年度あわらし行政評価外部評価委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 令和６年３月２２日（金） １５：００～１８：００
- 2 場 所 あわらし市役所 ２０３ 会議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・令和４年度施策評価シート
- 5 出席者 委 員：桑原委員（会長）、市野委員、山口委員、小嶋委員、
坂野委員、久野委員
内部評価委員：大角創造戦略部長
総 務 部：江守総務部長、中辻総務課長、高橋防災安全対策室長
創造戦略部：藤田市民協働課長
市民生活部：山田市民生活部長、矢部市民課長、細川生活環境課長補佐
健康福祉部：村中福祉課長、中道子育て支援課長、北島健康長寿課長
経済産業部：宮川商工労働課長、山本農林水産課長、翠観光振興課長
土 木 部：大味建設課長、山口上下水道課長
教育委員会：岡田教育部長、常廣教育総務課参事、早見文化学習課長、
近馬スポーツ課長
事 務 局：堀江政策広報課長、多賀政策広報課長補佐、
坂井政策広報課主査
- 6 会 議
・委員の出席状況の報告（丸谷委員、荒谷委員は所用のため欠席）
・議事

※以下の議事録において、【 】は施策番号で表記する。

事務局	action1（環境）に係る施策【1】～【4】について説明
会長	action1について意見や質問はあるか。
委員	津波ハザードマップについて、住民に十分浸透しているとは言い難いと思う。幅広い周知を行っていただきたい。
総務部	SNS の活用など、周知方法を工夫していきたい。

	1月の地震では、多くの課題が浮き彫りとなった。避難所の運営を含め、足元から見直しを行いたいと考えている。
委員	【3】地域防災計画の見直しはいつを予定しているか。
総務部	令和6年度に実施する予定である。
委員	【3】高齢化が進んだ集落では、逃げたくても逃げられない人が多くいる。地区の特徴に応じた避難の在り方も検討してほしい。
総務部	実態に応じた避難場所、訓練の在り方も検討していきたい。
委員	【3】防災無線が聞き取りにくい。ゆっくり喋るなど、工夫できないか。
総務部	防災無線については全国共通の課題である。多様な伝達手段を取り入れるなど工夫していきたい。令和6年度から、プッシュ型通知サービスも導入予定である。
委員	【2】洋上風力の進捗状況はどうなっているか。
市民生活部	漁業関係者など経済界に説明中。近隣自治体の理解も得ていく必要がある。
委員	【4】年々空き家が増えているが、対策はどう考えているか。
創造戦略部	空き家は個人の財産で所有者が管理すべきものであり、市はなかなか手を出せないが、空き家バンク制度や空き家の取得・リフォームに対する財政支援等を通じて、利活用を促している。
委員	高齢化が進む中、早め早めの対策をお願いしたい。
会長	相続土地国庫帰属制度については何か検討しているか。
創造戦略部	土地だけであれば国に返納できるが、上物がある場合は返納できないため、現在、特に活用は検討していない。緊急の危険があると認定された特定空家については、略式代執行により解体する場合はある。
事務局	action3（教育）に係る施策【13】～【17】について説明 欠席された委員から事前に頂いている意見を紹介 【14】スポ少の指導者不足を何とかしてほしいスポ少がある。やりたい種目があっても送迎が課題で、時間帯によって諦めることがある。

	【15】公民館講座の広報を工夫してほしい。 【16】部活動の地域移行について
教育委員会	【14】について、指導者の都合夜間活動への制約がある中、 【15】LINE 等のさまざまな媒体を通じた周知に努めているが、引き続き、より多くの方に知っていただくための広報を検討していきたい。 【16】
会長	その他、action3 について意見や質問はないか。
委員	【13】学校の授業以外で英語を使う機会がある生徒、76%とあるが、こんなに高いのか。
教育委員会	子どもたちは様々な場で英語を使うことに慣れてきている。小学 3 年生から英語の授業は始まっており、かなり浸透してきたことの現れかと思う。
委員	【17】新幹線開業に向けた郷土歴史資料館の誘客については何かあるか。
教育委員会	狛犬の企画展や、重要文化財である「けつ状耳飾り」の展示などを予定している。
委員	市全体で、新幹線開業効果を最大限生かす必要がある。あわら市に住んでいてもよく知らない歴史・文化がたくさんあり、それらが一覧できるものがあると良いと思う。インバウンド対応のものもあるとなお良い。
教育委員会	検討していきたい。
会長	新幹線開業は絶好の機会である。来訪者の属性調査など普段より細かな分析を行い、来訪者増に繋げてほしい。
教育委員会	承知した。
委員	【13】特別支援学級の充実について、あわら市の子どもたちが 1 人でも多く健やかに育っていけるよう、よろしくお願いしたい。
委員	【16】スポーツ情報の発信について、Instagram アカウントの周知は図っているか。
教育委員会	イベント等の際に周知はしている。LINE 等の活用も検討したい。
会長	【13】ICT の活用状況はどうか。

教育委員会	導入当初は、子どもの方が慣れるのが早く、教員側が追いつかないという状況もあったが、現在は ICT 支援員が各学校を回り、色々な支援を行っており、活用が進んでいる。
会長	今後、端末更新の時期を迎えていくが、財政負担についてどう考えているか。
教育委員会	国に対して導入当初と同様の財政支援を行うよう要望している。
事務局	action2（健康）に係る施策【5】～【12】について説明 欠席された委員から事前に頂いている意見を紹介 【8】女性の参加が増えるといいと思うが、家庭や仕事を両立している女性に対して会議の調整は課題 【10】障害を持つ方にとって、いきいきと生活できている現状とはいえないように感じる。就労の場の確保も不十分に思う。 【11】魅力ある施策を通じて、あわら市で子どもを育てたいと思う人を増やしてほしい。
創造戦略部	【8】男女共同参画の事業を進めつつ、「共家事」などの啓発を通じて意識改革を進めていきたい。
健康福祉部	【10】就労の場の確保について、相談体制やマッチングを充実させていきたい。 【11】子育て支援の充実も大事だが、生活面や交通面など、子育て世帯が日常生活を送る上での利便性向上にも取り組む必要があると考えている。
会長	その他、action2 について意見や質問はないか。
委員	【9】老人センターの延べ利用者数は年間の数か。
健康福祉部	年間の数である。
委員	1 日当たり 10 人に満たない状況。市として老人センターを運営する意味があまりないのでは。
健康福祉部	コロナ禍で施設を停止していた影響もあり、利用者数が伸びていない。指定管理者である社会福祉協議会とも協力しながら、利用者の増

	につなげていきたい。
委員	【7】 ひきこもり対策についてはどう取り組んでいるか。
事務局	令和5年度から重層的支援体制整備事業として「福祉まるごと相談室」を創設し、多角的に支えていく体制づくりに取り組んでいる。
委員	【11】 外国人世帯の子育て支援についてはどう取り組んでいるか。
健康福祉部	翻訳機などを活用しながら、妊娠段階から支援を行っている。
委員	外国人の定住数はどれ程か。
創造戦略部	空き家
委員	人口減少が進んでいくと、外国人割合は増えていくと思う。
会長	【8】 外国人について、何か取り組んでいることはあるか。
創造戦略部	市内でも多文化共生を進める必要があると感じている。先の地震の際、市内の外国人の方がどのようなことに困ったか、意見の吸い上げを行っており、こうした方々を対象とした防災訓練を実施する予定である。
委員	【8】 LGBTQ の理解増進に関する今後の取組はどう考えているか。
創造戦略部	大使の協力を得ながら啓発に努めていきたい。
会長	パートナーシップ制度の導入はしているか。
創造戦略部	令和5年6月に導入した。
事務局	action5（経済産業）に係る施策【24】～【31】について説明 欠席された委員から事前に頂いている意見を紹介 【24】様々なイベントが実施されているが、次も来たいと思ってもらうためには、交通手段が課題では。 【25】①坂井北部丘陵地、フルーツラインなどは車通りが多く、飲食店などもあると盛り上がるのではと思う。②農業の担い手不足に対し、市や県が受け皿となって外国人労働者の受入を検討してはどうか。
経済産業部	【24】 令和5年度から、二次交通の充実を目的に開始した「ぐるっとタクシー」が好評いただいている。課題は運転者不足により全台稼働ができないことと認識している。また、レンタサイクルの充実にも取り組んでいる。

	【25】①坂井北部丘陵地については、農業振興地域に指定されていることもあり、建設できる建物に制限があるため、飲食店は難しいかと思う。②担い手不足は深刻であり、外国人労働者も含めて抜本的な対策が必要と認識している。
会長	その他、action5 について意見や質問はないか。 外国人労働者の規制緩和は、追い風になると考えるか。
経済産業部	メリットだけではないと思うので、一概に増やせば良いというものではないと考える。
委員	今後、新幹線開業効果の検証段階に入っていく。効果を最大化する施策を打ってほしい。観光まちづくりビジョンができつつある中、県、国と連携を密にし、温泉街再整備を早急に進めるとともに、DMO の設立を 1 日も早く進めていただきたい。
経済産業部	ビジョンの中に DMO の記載もあり、策定後には設立に向けた動きが起これと思う。1 日も早く活性化に取り組みたいと思っており、関係者の協力をお願いしたい。
委員	【25】イノシシ対策についての効果はどうか。
経済産業部	柵設置後の意地管理が重要であり、そこができていないと十分な効果が得られないため、講習会を定期的に実施している。
会長	捕獲した害獣の利活用は検討しているか。
経済産業部	業者委託により処分している。肉加工のハードルが高い、採算が合わないなど、利活用はなかなかうまくいかないと聞いている。
事務局	action6（地域社会）に係る施策【32】～【35】について説明 欠席された委員から事前に頂いている意見を紹介 【32】LINE は HP より情報を得やすい。時代に合った情報発信に引き続き期待する。 【35】職員の数が不足しているように感じるがどうか。
創造戦略部	【32】LINE については現時点で約 3,000 人に登録いただいております、今後も工夫しながら情報発信していきたい。

	【35】人が増えない中で個々の業務量が増えていることが課題であると認識している。デジタルを活用した効率化・省力化に努めていきたい。
会長	その他、action6 について意見や質問はないか。
会長	【34】人口減少対策チームとは
創造戦略部	庁舎内の部署横断型のチームとして令和 5 年度に設立し、移住定住、子育て支援などの視点で施策を検討している。通勤支援や子どもの移動支援などの検討もこのチームで検討されている。
事務局	action4（都市）に係る施策【18】～【23】について説明 欠席された委員から事前に頂いている意見を紹介 【21】竹田川沿いは素敵なスポットであり、マラソンコースにしたり夜間明るくするなど、賑わう場所にしてほしい。
土木部	竹田川周遊整備事業については、市長公約にもなっており、国等の支援を受けながらハード整備に向けて事業を進めている。多くの方に歩いていただき、キッチンカーも並ぶなど、人が集う場所にしていきたいと考えている。
会長	その他、action4 について意見や質問はないか。
委員	【22】県水の負担軽減に向けて何に取り組んでいるか。
土木部	県に対して、平成 30 年度から毎年要望している。引き続き、将来の施設更新費用の試算数値や国の制度改正などの材料を揃えて交渉に臨み、負担軽減を勝ち取っていきたい。
委員	【22】水道事業会計の健全化に向け、健全経営を実現している事例の調査研究にも取り組んでほしい。
土木部	承知した。
会長	ウォーター PPP については検討しているか。
土木部	現在進めている包括民営委託の中で、ウォーター PPP についても可能性を探っていきたい。
委員	【21】竹田川周辺というと、「ちはやふる」に所縁のあるスポットが

	多く、人を呼び込む材料になると思う。周遊整備では、観光サイドとも連携し、そういった観点も取り入れてほしい。
土木部	検討したい。
事務局	本日予定の案件は全て終了した。以上で、今年度のあわら市行政評価外部評価委員会を終了する。